

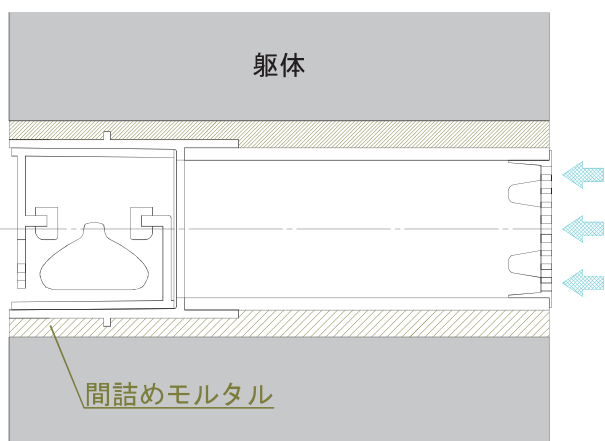
# 追加施工ウィープホール

## ゴム輪付きウィープホール

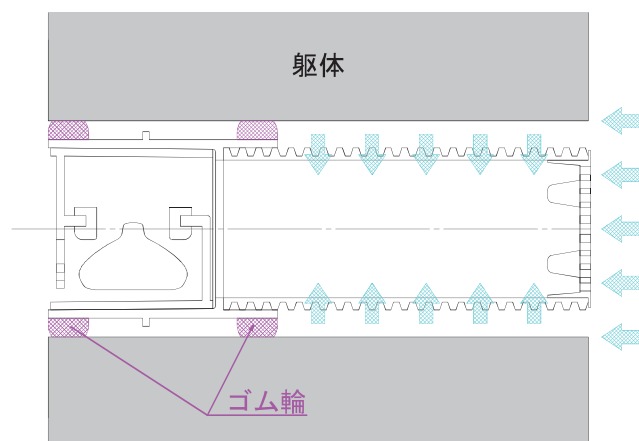
### はじめに

近年、老朽化したフルーム水路が集中豪雨時の外水位の上昇により、浮上する事故が多発しています。一般的な対策として、躯体壁面下部をコア削孔し、ウィープホールを無収縮モルタルで設置する工法が取られていましたが、背面水位が高い箇所では流水を止めることが難しく、取り付けが非常に困難でした。そこで、ウィープホールにゴムリングを取付けることにより、施工の省力化を可能としました。

### 施工イメージ



従来工法



水の流れのイメージ

ゴム輪付きウィープホール

### 特徴

- ゴム輪による設置で、**施工が容易**になります。
- **水が出ている箇所**でも施工可能で、冬期の施工でも**養生が不要**です。
- **取り外し可能**なため、洗浄効果が高く、定期的なメンテナンスにより**機能が持続**できます。
- 各施設に合わせた弁・径・長さ に対応可能です。(最小削孔径φ80mm 最小製品長L=46mm)

### 写真



HK-50 (φ50 浮子式弁)



HK-50C(フラップ弁)



HK-75 (φ75 浮子式弁)



# ウィープホール機能再生ドレーン工法

## 鋼管打ち込み工法

### はじめに

近年、老朽化したフルーム水路が集中豪雨時の外水位の上昇により、浮上する事故が多発しています。一般的な対策として、躯体壁面下部をコア削孔し、ウィープホールを無収縮モルタルで設置する工法があげられますが、裏込め材の状況によっては十分な効果が得られない場合もあります。

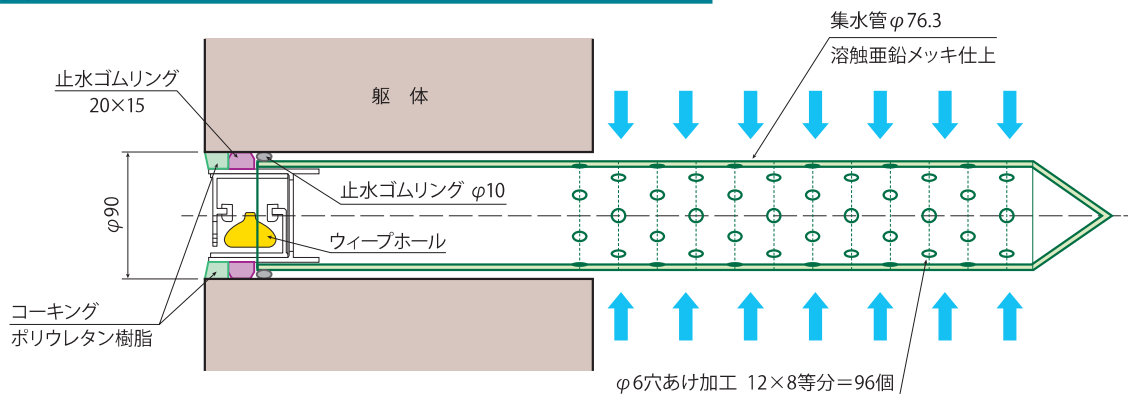
そこで、鋼製さや管(有孔管)を打ち込むことにより、広範囲からの集水を可能とした工法を開発しました。



### 特徴

- 集水管により**広範囲から集水**することができます。
- 削孔径がφ90と小さいため、躯体の**鉄筋を切断する事無く**設置が可能です。
- 集水管の内容積が大きいため、流入土砂による**目詰まりがしにく**いです。
- ゴム輪付ウィープホールは**設置が容易**で、流出水がある場合でも設置可能です。
- 集水管の管長、打ち込み深さ、仕上材(方法)は**現場の状況に合わせてご提案**いたします。

### 標準図



### 排水管への応用

ウィープホールの機能を再生することを目的として開発しましたが、ウィープホールの必要が無い道路擁壁等で**背面水の処理**が必要な箇所にも対応可能で、**補修工事**においては、断面修復などの施工前に設置することで、**施工品質が向上**します。

